

4 総括と評価

【点検評価委員会委員からの総括的意見】

日本における教育の最上位計画として位置付けられている教育基本法の改正、以後、それを受けて社会教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等が続々と改正され、大きな教育改革が進行しています。このような時代背景の中、各部の報告からは、厚木市教育大綱を根幹に据え、家庭・学校・地域の教育力を向上させ、共に発展していけるように、学校教育・社会教育の両面から創意工夫を凝らして事業を展開してきていることが分かりました。そして、なかなか終息を迎えることのできない新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、実績を上げてきたことは高く評価できます。

令和3年度は小学校に続き改訂された、新たな中学校学習指導要領が完全実施となりました。これまでの学習指導要領にはなかった「前文」には、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、社会との連携及び協働により「社会に開かれた教育課程」の実現が重要であると明記されています。その理念を念頭に置き、「確かな学力」を定着させ、豊かな心と健やかな体を育むために、児童・生徒一人一人に目を向けたきめ細かな指導が行われている様子がよく分かりました。今後も、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるように、改修工事等のハード整備や、教職員の資質向上などのソフト面を一層充実していってほしいと思います。

社会教育の領域では、新型コロナウイルス感染症を防止するため、多くの事業の中止が相次ぐ中、オンラインを利用した家庭教育学級や感染症対策を施しての学級講座の開設、動画の作成や種目を変更してのスポーツ振興、海外の美術館と連携した新たな展示による市民の教養の幅を広げるための文化振興施策等、それぞれ創意工夫を凝らした取組がなされていました。市民にとって、生涯学習・スポーツの理念に沿った事業展開は、憩いと潤いのある生活環境を創生していきます。新たな生活様式が広がる中、市民の学びの場がより一層充実することを期待しています。

今回の点検評価では、特に「インクルーシブ教育」「英語」「ICT」が多く取り上げられました。いずれも、『学校教育』『社会教育』それぞれの枠組みの中だけで展開されるものではなく、生涯を通した学びの中で、『ハード』『ソフト』両面で展開していく必要があり、各部・各課等における、縦割りの壁を取り払い、これまで以上の連携・協働が必要です。そして、市長部局を含めた全庁的な事業展開を心掛けていただければと思います。

最後になりますが、令和4年度からは、公共施設建設などの大型事業が盛り込まれた、第2次厚木市教育振興基本計画を対象にした点検評価となります。今回の点検評価では、前回の評価結果をいかした事業展開がなされているという意見が出された一方、「市総合計画に位置付けのない事業を点検評価できるように、対象を臨機応変に広げるべき」、「成果と課題はより具体的な資料の提示が必要」などの指摘もありました。今後も常にPDCAサイクルを意識した事業展開を心掛け、12年間を見据えた教育活動を幅広く柔軟に展開し、「教育環境日本一」を実現していただくことを祈念します。

【厚木市教育委員会による点検評価総括】

厚木市教育委員会は、「未来を担う人づくり」を教育の基本理念に掲げ、厚木市教育振興基本計画に基づき様々な事業を展開しており、令和3年度からは新たに策定した第2次厚木市教育振興基本計画がスタートしました。令和2年度は、前計画の最終年度であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の見直しをせざるを得ない状況の中でも、実施方法等を工夫・検討しながら前向きに取り組めました。

社会教育の分野では、多くの事業が中止を余儀なくされましたが、そうした状況の中でも、家庭教育への支援では、オンラインによる講演会の実施や情報提供などに努めました。また、スポーツ活動の振興では、密を避けるため屋外で市民の健康と体力向上を図る新規事業を展開するなど、スポーツに親しむ環境づくりを推進しました。文化活動の振興では、郷土芸能の写真展を新たに開催し、厚木市が誇る貴重な郷土芸能をより多くの方に普及・継承するための機会の提供に努めました。

学校教育の分野では、臨時休業など教育活動に制限がありましたが、学習をサポートする人材の配置やICTを活用した授業の実施を始め、インクルーシブ教育の推進、外国籍児童・生徒の支援など、ニーズに沿ったきめ細かな指導に努めました。また、児童・生徒とその保護者等が抱える問題に対する教育相談活動の充実や、増加傾向にある不登校の児童・生徒への個別支援などに継続的に取り組むとともに、教職員の資質・能力の向上を図るため、オンラインを活用した研修や教育課題の調査研究を推進し、日々の教育活動に活用できる実践的な取組につなげました。様々な教育課題の解決のためには、児童・生徒と直接向き合う教職員が資質や能力を最大限発揮できるための教育環境の充実を図ることが重要であり、児童・生徒一人一人と向き合える時間を確保できるように、教職員の多忙化解消に努めていきます。

施設整備については、児童・生徒が快適な教育環境の中で安心して安全に学校生活を送ることができるよう校舎改修等を進めるとともに、（仮称）厚木市学校給食センターの整備や地域コミュニティの活動拠点となる厚木北公民館の再整備に取り組んでいます。

これからの教育には、「学校教育」と「社会教育」の連携・協働が求められており、地域との絆を大切にした特色ある学校づくりやコミュニティ・スクールの活動を始め、公民館を中心とした「地域で子どもを育てる」取組など、新たな連携が徐々に増えています。

今回の点検評価を、前計画の12年間の取組に対する評価として受け止め、改善すべきは改め、大切な思いや姿勢はしっかりと引継ぎながら、これからの12年間の取組に反映していきます。

【基本方針事業に関する教育委員会の評価】

基本方針1

「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

評価

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、学校の臨時休業に伴う授業時数の減少や、学校行事の中止・縮小など、各種教育活動の変更が余儀なくされる状況でしたが、非常勤講師の派遣や学力ステップアップ支援員の配置により、児童・生徒一人一人の状況に応じた、きめ細かな指導を行う体制を維持することができました。

また、国のGIGAスクール構想を受けて、令和2年度末までに1人1台のパソコンの整備を完了し、現在は、課題を整理しながら、効果的な活用について研究を進めています。

ICTの活用や国際理解など、新しい時代に必要となる教育を充実させるとともに、継続的に地域との絆を大切にした特色ある学校づくりに取り組むことにより、児童・生徒の学習意欲の向上を図り、「確かな学力」を身に付ける教育の推進に取り組んでいきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

- ・ 小学校児童支援推進事業（1－①） （109%・102%）
- ・ 中学校少人数学級実施事業（1－②） （104%・102%）
- ・ 学力ステップアップ支援員配置事業（1－⑨） （100%）

成果指標における実績が80%未満の事業

- ・ 元気アップスクール推進事業交付金（小学校・中学校）
（1－③④） （37%）
- ・ 小中一貫教育推進事業（1－⑦） （78%）
- ・ 中学校ICT化推進事業（1－⑬） （57%）
- ・ 小学校保護者負担軽減事業（1－⑭） （70%）

基本方針2

豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

評価

豊かな心と健やかな体を育むため、全中学校が対象となる（仮称）厚木市学校給食センターの整備を計画的に進めるとともに、児童・生徒とその保護者等が抱える問題に対する教育相談活動を充実させたことや、不登校の児童・生徒一人一人に応じた支援や学習指導を通じて、登校状況が改善するなど、着実に事業を推進することができました。

一方で、児童・生徒とその保護者が抱える悩みは複雑化・多様化しており、不登校の児童・生徒の割合は増加傾向にあるため、より一層関係機関との連携を密にしながら、不登校の原因や状況に応じた支援を丁寧に進めていきます。

また、読書活動推進に関する事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止となりましたが、電子書籍や動画を市ホームページから閲覧できるようにするなど、工夫を凝らして事業を展開できました。

今後も、開設予定の「電子図書館」を始め、各種事業について積極的に取り組んでいきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・中学校給食施設整備事業（2－①） | （100%） |
| ・青少年教育相談事業（2－②） | （123%・105%） |
| ・適応指導教室運営事業（2－④） | （104%） |

※成果指標が二つ以上ある場合は、全ての指標が100%以上達成できた事業のみ記載しています。

成果指標における実績が80%未満の事業

- | | |
|-------------------|-------|
| ・ブックスタート事業（2－⑤） | （59%） |
| ・子ども読書活動推進事業（2－⑥） | （24%） |

※成果指標が二つ以上ある場合は、全ての指標が80%未満の事業のみ記載しています。

基本方針3

教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

評価

教職員の意欲や資質・指導力の向上を図るため、オンラインを活用した研修の実施や、教育の今日的課題等の解決に向けた調査研究を進めることができました。

また、学習指導要領の改訂に併せ、中学校社会科副読本の全面改訂、小学校社会科副読本の修正などに取り組み、さらに、家庭・地域において活用できるよう検討を進め、公民館への配布につなげることができました。

今後も、ＩＣＴを活用した授業づくり、インクルーシブ教育、社会に開かれた教育課程の実現を目指すコミュニティ・スクールなどに重点を置いた研修等の充実を図り、信頼される学校づくりを推進していきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

- | | |
|--------------------|--------|
| ・先生のための研修事業（３－①） | （100%） |
| ・教育調査研究部会運営事業（３－②） | （102%） |

基本方針4

課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

評価

児童・生徒が快適な環境の中で学校生活を送ることができるよう、計画的に校舎等の施設整備を進めるとともに、特別支援介助員や日本語指導協力者などを派遣し、児童・生徒一人一人の課題やニーズに応じたきめ細かな支援体制の充実を図りました。

児童・生徒の問題行動に対しては、より確実に対応する必要があることから、関係機関との連携を深め、児童・生徒が様々な立場から支援・指導を受けることができるよう努めていきます。

また、学校規模の適正化を図る「市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」の策定に向けた取組や、地域コミュニティの活動拠点となる厚木北公民館の再整備についても、計画的に取組を進めています。

今後も、児童・生徒が安心して安全な学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実を進めていきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

・第2次教育振興基本計画策定事業（4－①）	（100%）
・小中学校学校施設最適化推進事業（4－③）	（100%）
・三田小学校再整備事業（4－④）	（100%）
・小・中学校特別教室冷暖房設備設置事業（4－⑤⑥）	（100%）
・中学校校舎・体育館改修事業（長寿命化）（4－⑧）	（100%）
・インターナショナルセーフスクール推進事業（4－⑫）	（100%）
・特別支援教育推進事業（4－⑰）	（100%）
・厚木北公民館整備事業（4－⑳）	（100%）
・公民館改修事業（長寿命化）（4－㉔）	（100%）

成果指標における実績が80%未満の事業

・学校支援プロジェクト推進事業（4－㉔）	（67%）
----------------------	-------

基本方針5

教育の原点である家庭教育を支援します。

評価

家庭教育の必要性や重要性を広く伝えるため、オンラインによる講演会を全2回実施し、多くの市民の方に参加いただくなど、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、必要な情報を提供することができました。

今後も、家庭教育を支援するため、幼稚園保護者会や小・中学校PTAの要望や課題の把握に努め、ニーズに合った情報提供や効果的な家庭教育学級の開設に努めていきます。

また、地域で家庭教育を支援するため、地域ぐるみ家庭教育支援事業を推進し、「地域で子どもを育てる」意識の向上に取り組んでいきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

- ・家庭教育学級交付金（5－①）（101%）
- ・家庭教育情報提供事業（5－②）（101%）

基本方針6

地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

評価

青少年相談員や社会教育指導員の継続的な巡回や、積極的な声掛け指導により、問題行動を起こす青少年の数が減少するなど、成果を上げています。しかし、スマートフォンの普及や、新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年の生活実態を把握することが困難になっているため、引き続き情報収集による生活実態の把握に努めていきます。

今後も青少年の非行防止活動を進めるとともに、地域社会の教育力の向上のため、地域と連携・協働を図りながら、効果的に事業を推進していきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

・ 青少年非行防止活動事業（6－①） （286%）

基本方針7

スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

評価

スポーツ活動の普及・推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止を余儀なくされましたが、屋外で密を避けながら、楽しく運動できる「サーチウォークチャレンジ」を新たに開催したことや、市ホームページにおいてトレーニング&ストレッチ動画を配信するなど、市民のニーズに対応し、工夫を凝らした事業を展開するよう努めました。

また、文化活動の振興については、中止・延期とした代替事業として、大学生の撮影による郷土芸能の写真展を開催し、幅広い世代に新たな郷土芸能をPRする機会となりました。

今後も、事業の実施方法を工夫・検討しながら、スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりに取り組んでいきます。

成果指標における実績が目標に達した事業

・スポーツ推進計画改定事業（7－⑧）	（100％）
・体育施設改修事業（長寿命化）（7－⑨）	（100％）
・飯山グラウンド整備事業（7－⑩）	（100％）
・市史編さん事業（7－⑫）	（100％）

成果指標における実績が80％未満の事業

・市民スポーツ活動推進事業（7－①）	（24％）
・スポーツ推進事業補助金（7－②）	（24％）
・あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金（7－③）	（39％）
・市民体力向上推進事業（7－④）	（39％）
・スポーツ推進委員養成事業（7－⑤）	（37％）
・競技団体選手強化事業交付金、全国大会等出場奨励事業（7－⑥⑦）	（23％）
・「（仮称）渡辺崋山展」プロジェクト事業（7－⑮）	（60％）

※成果指標が二つ以上ある場合は、全ての指標が80％未満の事業のみ記載しています。

基本方針8

人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

評 価

新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小しましたが、人権に対する意識向上を目的とした、ヒューマン・カレッジ（人権講座）を開催しました。

今後も、学校教育との連携も視野に入れながら、市民の方々のニーズに合った、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心掛けた講座を実施し、人権教育の充実を図っていきます。

【令和２年度事業別成果指標達成状況一覧】

【凡例】指標の達成状況について

「◎」・・・実績が１００％以上のもの

「○」・・・実績が８０％以上１００％未満のもの

「△」・・・実績が８０％未満のもの

「―」・・・指標を設定していないもの及び事業を中止したもの

事業名	達成状況
基本方針１	
① 小学校児童支援推進事業	◎・◎
② 中学校少人数学級実施事業	◎・◎
③ 元気アップスクール推進事業交付金（小学校）	△
④ 元気アップスクール推進事業交付金（中学校）	△
⑤ 教育活動充実交付金（小学校）	―
⑥ 教育活動充実交付金（中学校）	―
⑦ 小中一貫教育推進事業	△
⑧ 小学校「あつぎＩＣＴ元気塾」実施事業	―
⑨ 学力ステップアップ支援員配置事業	◎
⑩ 英語教育推進事業	○・○
⑪ ＳＥＬ教育基金事業	―
⑫ 小学校ＩＣＴ化推進事業	○
⑬ 中学校ＩＣＴ化推進事業	△
⑭ 小学校保護者負担軽減事業	△
⑮ 中学校保護者負担軽減事業	○
基本方針２	
① 中学校給食施設整備事業	◎
② 青少年教育相談事業	◎・◎
③ 登校支援推進事業	◎・△・△
④ 適応指導教室運営事業	◎
⑤ ブックスタート事業	△
⑥ 子ども読書活動推進事業	△

事業名	達成状況
基本方針3	
① 先生のための研修事業	◎
② 教育調査研究部会運営事業	◎
③ 教育資料提供事業	—
基本方針4	
① 第2次教育振興基本計画策定事業	◎
② 小中学校適正規模等推進事業	○
③ 小中学校学校施設最適化推進事業	◎
④ 三田小学校再整備事業	◎
⑤ 小学校特別教室冷暖房設備設置事業	◎
⑥ 中学校特別教室冷暖房設備設置事業	◎
⑦ 小学校校舎・体育館改修事業（長寿命化）	○
⑧ 中学校校舎・体育館改修事業（長寿命化）	◎
⑨ 小学校校庭整備事業	—
⑩ 中学校校庭整備事業	—
⑪ 児童・生徒登下校等安全推進事業	○
⑫ インターナショナルセーフスクール推進事業	◎
⑬ 要保護及び準要保護児童就学援助事業	—
⑭ 要保護及び準要保護生徒就学援助事業	—
⑮ 小学校特別支援学級等就学奨励事業	—
⑯ 中学校特別支援学級就学奨励事業	—
⑰ 特別支援教育推進事業	◎
⑱ インクルーシブ教育推進事業	—
⑲ 外国籍児童・生徒等支援事業	○
⑳ 学校支援プロジェクト推進事業	△
㉑ 厚木北公民館整備事業	◎
㉒ 公民館改修事業（長寿命化）	◎
基本方針5	
① 家庭教育学級交付金	◎
② 家庭教育情報提供事業	◎
③ 「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業	—
④ 地域ぐるみ家庭教育支援事業	—
⑤ 地域ぐるみ家庭教育支援事業交付金	—

事業名	達成状況
基本方針６	
① 青少年非行防止活動事業	◎
基本方針７	
① 市民スポーツ活動推進事業	△
② スポーツ推進事業補助金	△
③ あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金	△
④ 市民体力向上推進事業	△
⑤ スポーツ推進委員養成事業	△
⑥ 競技団体選手強化事業交付金	△
⑦ 全国大会等出場奨励事業	△
⑧ スポーツ推進計画改定事業	◎
⑨ 体育施設改修事業（長寿命化）	◎
⑩ 飯山グラウンド整備事業	◎
⑪ 公民館活動事業	△・○
⑫ 市史編さん事業	◎
⑬ 郷土芸能事業	－・－・△
⑭ 郷土博物館活動推進事業	○
⑮ 「（仮称）渡辺崋山展」プロジェクト事業	△
基本方針８	
① 人権教育・啓発推進事業	○

令和3年度
厚木市教育委員会点検評価報告書
(令和2年度事業対象)

令和3年7月発行

発 行 厚木市教育委員会
編 集 厚木市教育委員会教育総務部教育総務課